

東北学院大学研究ブランディング事業

「東北における神学・人文学の研究拠点の整備事業」

ラーハウザー記念東北学院礼拝堂は1932年の献堂であり、正面奥には「昇天」を描くイギリス製のステンドグラスが取り付けられています。制作は、ヴィクトリア朝のゴシック・リバイバルの代表的な工房であるヒートン・バトラー・アンド・バイン (Heaton Butler & Bayne) 工房です。

しかし設置されて80年以上が経過し、ガラス片を繋ぐ鉛の棧の腐食が進み、縦4枚で5連、すなわち計20枚のパネルはたわみ、崩落する危険性があります。今回、鉛の棧を取り替えて、ガラス片を新たに組み直す修復を行います。

この作業は、礼拝堂献堂以来初めてのことで、19世紀ヴィクトリア朝に連なるステンドグラスを身近に観察できる80年に一度の貴重な機会でもあります。修復を請け負う横浜の光ステンド工房（代表：平山健雄）の協力を得て、取り外す作業を公開します。

平山健雄氏は日本を代表するステンドグラス作家であり修復家です。代表作は桜美林大学女子寮の「奇跡の漁り」、近年のステンドグラス修復としては横浜市開港記念館（1927年宇野澤工房）や日本基督教団の鎌倉教会（1926年小川三知作）があります。

# ステンドグラス 修復作業公開

申込不要  
参加無料

どなたでも見学にお越しください。

2017年8月3日(木) 14:00~16:00

東北学院大学 土樋キャンパス

ラーハウザー記念東北学院礼拝堂



解説 平山健雄 光ステンド工房 代表

【お問い合わせ先】 東北学院大学研究ブランディング事業推進室

TEL/FAX:022-264-6547 E-mail: branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp URL: <http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/theology>